

つばた

議会だより

No.127

2013. 10. 5



9月会議

豪雨で4億円以上の被害 2P

クローズアップ 環境整備基金積立金など 4P

委員会審議 萩坂分団消防ポンプ自動車更新 6P

あの質問のゆくえ 子ども医療費を無料に 10P

いっぱん質問 山間地河川の安全対策をなど 8人が登壇 11P

ゴールは目の前

(中条南保育園)

6億2798万円を可決

(全員賛成)

一般会計総額130億6408万円に

集中豪雨 町を襲う

4億円超の被害発生

災害復旧に4億6593万円計上



9月会議を9月4日から11日までの期間で開催した。初日に一般会計・特別会計・事業会計補正予算、条例の制定・改正などを含む16件、決算認定13件の議案が提出された。引き続き決算審査特別委員会を設置し、24年度一般会計などの決算審査を付託、町政全般について8人が一般質問を行った。

議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願2件を採択、3件を不採択、陳情1件を不採択とし、議会提出の意見書5件を可決した。

また最終日には、教育委員の任命について同意した。続いて、8月23日に発生した豪雨による災害復旧費として、一般会計補正予算の追加議案が提出され、各常任委員会審議を経て、可決した。

ことしの夏は大雨警報が7月29日、8月1日、23日、30日に発令され、町でも豪雨により各地で災害が発生した。これらの復旧のため、次の補正予算が計上された。

- 土木費 630万円
異常な水位上昇があった町管理の4河川の堆積土砂などの除去
- 公共土木施設災害復旧費 1億1323万円
町道20件・河川9件の復旧費
- 農林水産施設災害復旧費 3億4538万円
農地51件・農業用施設27件・林道8件の復旧費
- 災害対策費 102万円
職員の時間外手当など

町の迅速な対応

9月 補正予算の計上と緊急箇所の復旧
10月 国の災害認定審査
11月から順次、復旧工事に着手



▲被害現場

人事

選任された委員

教育委員会委員

山本 祝男氏

(川尻)
新任



(全員賛成)

決算審査 特別委員会

平成24年度一般会計決算ほか特別会計10件、事業会計2件の決算審査をする。

- 委員長 向 正則
- 副委員長 酒井 義光
- 委員 八十嶋孝司
- 荒井 克
- 森山 時夫
- 角井外喜雄
- 塩谷 道子

▲予期せぬ水量 (下矢田)

こんなことに使われます クローズアップ

9月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

起業支援型 地域雇用創造事業費

934万円

起業支援および新規雇用を目的として、10月から1年間買ひ物弱者支援事業を委託する。
(株)ティタすテイが取り組んでおり、ウエルピア倉見などの拠点でタブレット端末から注文し、商品を受け取る。

財源は、
A 県の緊急雇用関連の補助金を利用する。



観光宣伝推進費

85万円

北陸新幹線開業を見据え、10月に金沢市で開催される地域伝統芸能全国大会に出場するための費用など。笠池ヶ原地区の「ヤラヤラ道中」が出演予定である。



障害児発達支援サービス 給付利用支援費

2103万円

障害児の放課後等デイサービスや通所施設の利用者が増加したため補正する。



就学奨励金

(小・中学校)

926万円

要保護、準要保護児童生徒の学用品などの補助費用であり、就学援助受給児童の認定者数の増加により補正する。



河北潟周辺排水対策

73万円

平成20年に竣工した新舟橋排水機場の密封装置が破損したため、早急に修繕する。

故障により懸念されることは、舟橋、加茂、能瀬地域の雨水を排出できず、周辺一帯が冠水する恐れがある。

消防救急無線 デジタル化整備

1932万円

緊急防災・減災事業債を活用し、無線用電源、通信指令室、アンテナ鉄塔などをデジタル化するために改修する。この改修により、電波の混乱がなくなり、より有効な活用ができるなど、機能の充実が図られる。



環境整備基金積立金

1500万円

ミニボートピア津幡の勝舟投票券の売り上げに対し、1%が環境整備協力費として納付される。これを基金として積み立てる。

納付される時期は、
A 毎年4月と10月である。

環境整備基金 条例を制定

基金を有効活用するため、用途を次の4つとする。

- ① 未来を担う青少年の育成
- ② 地域福祉の向上と地域づくり
- ③ 定住の促進
- ④ 環境整備

(全員賛成)

7月会議

一般会計
補正予算

4020万円を可決

(賛成16人・反対1人)

一般会計総額124億3610万円に

風しん任意予防接種を助成

○感染症予防費

100万円

妊婦が風しんに罹患することを防ぎ、胎児の先天性風疹症候群を予防するため、次の対象者へ風しん予防接種費用として1人1回5000円を助成する。

- ① 妊娠を予定または希望している女性
- ② 妊婦と同居する家族
- ③ 昭和54年4月2日～平成2年4月1日生まれの方

○財産の取得

スクールバス車両 1台

1973万円
(賛成16人・反対1人)



▲これで大丈夫

7月会議を7月23日に開催し、一般会計・特別会計補正予算、請負契約締結など議案5件が上程された。
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。

請負契約の締結

公共下水道浄化センター
水処理施設更新工事
8631万円
(賛成16人・反対1人)



産業建設

▲優しく快適な暮らしへ

Q 平成25年度の申込件数と総工事高は。
A 申し込みは8月末現在で295件、総工事高は4億5088万円である。

Q 町の支出は。
A 5460万円の予定である。

住宅リフォーム助成事業

10月末で受付終了

-都市建設課-

Q 来年度の予定は。
A 平成24、25年度の2か年事業としており、来年度の予定はない。

Q 2か年の総数は。
A 申込件数590件、全工事費9億3032万円、助成額1億939万円、業者数87社である。(平成24年4月2日～25年8月末)

浄化センター設備工事費

組み替え

-上下水道課-

Q 理由は。
A 機能更新補助事業の採択要件に、設備工事を実施する以前に、耐震診断を優先するよう求められており、今回調査業務委託料に組み替える。



委員会 審議

スポーツ・文化など

中学生が活躍

-学校教育課-

Q 平成25年度の活躍状況は。
A 剣道、柔道、相撲が全国大会に出場した。柔道男子はベスト16に、相撲は決勝トーナメントに進出した。

また、吹奏楽は津幡・津幡南中学校ともに北陸大会で金賞を受賞し、津幡南中学校は10月26日の全国大会に出場する。



▲目指せ日本一！

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

- 総務** (総務・財政・税務・議会・監査・消防など)
 ◎森山時夫◎荒井 克 向 正則 道下政博 南田孝是 谷下紀義
- 文教福祉** (民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院)
 ◎角井外喜雄◎黒田英世 塩谷道子 多賀吉一 谷口正一 河上孝夫
- 産業建設** (土木・農林・労働・商工・上下水道)
 ◎酒井義光◎八十嶋孝司 西村 稔 中村一子 山崎太市 洲崎正昭
 (◎委員長 ○副委員長)



▲生命、財産を守る

総務

萩坂分団

消防ポンプ自動車更新

-消防本部-

Q 旧ポンプ車の納入時期は。
A 平成5年2月に納入した。

Q 新車両の購入価格は。
A 税込みで1438万円である。

Q 補助金制度はあるのか。
A 県の石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用する。

更新は導入後20年をめぐりにしている。



▲安心、安全のために

一酸化炭素警報器の更新

-監理課-

Q 更新箇所は。
A 役場庁舎および小・中学校の厨房、理科室や幼稚園・保育園の厨房に設置する。

Q 更新期間は。
A 3年で更新する。

73か所を予定している。

文教福祉



▲熱心に研修を

地域包括支援センター・社会福祉協議会との研修会

地域包括支援センター・社会福祉協議会が担当している事業や現状、子育てが抱える問題について具体的な説明を受けた。

委員会の感想

当町の福祉や社会保障についての業務が広範囲にわたり、職員が情熱をもって取り組んでいる様子に委員一同、認識を新たにしました。

陳情1件を審査

採択

大規模地震等災害対策の促進を
求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡東地区員

関沢 隆
紹介議員 道下 政博
(賛成15人・反対2人)

反対

要望の中に「国土強靱化基本法」を滑り込ませ、大手ゼネコンがもうかる仕組みを推し進めることには反対する。

塩谷 道子議員

賛成

さきの国政選挙の結果から与党・自民党、公明党が訴えてきた国土強靱化対策に信任を得たと理解しており、大規模災害対策を進めていく必要がある。

道下 政博議員

採択

若い世代が安心して就労できる
環境等の整備を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡東地区員

関沢 隆
紹介議員 道下 政博
(賛成16人・反対1人)

反対

限定正社員制度は、企業が社員を安く雇用し、解雇を容易にするために導入を考えているものであり、若者の就労やワーク・ライフ・バランスを実現させる制度ではない。

塩谷 道子議員

賛成

公明党青年委員会が全国で働き方についてのアンケートを実施した結果をもとに、今回の請願を提出している。限定正社員制度にメリットとデメリットがあることは承知の上での提出である。

道下 政博議員

上記の採択された2件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

委員会発議で意見書を国に提出

森林吸収源対策および地球温暖化対策に関する
地方の財源確保のための意見書

総務常任委員長 森山 時夫

国民の生命財産を守るため、森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、石油石炭税の税率の特例による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みを構築すること。

(全員賛成)

教育予算の拡充を求める意見書

文教福祉常任委員長 角井外喜雄

教育は未来への先行投資であり、子どもたちが機会均等に一定水準の教育を受けられることは極めて重要である。そのためには、教育予算を国全体としてしっかりと確保、充実させる必要がある。

(全員賛成)

鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書

産業建設常任委員長 酒井 義光

1 地方自治体への財政支援を充実させるとともに、鳥獣被害防止総合対策交付金の予算を拡充すること。
2 狩猟者の確保、育成に向けた対策の強化と支援を拡充すること。

(全員賛成)

みなさまからの 請願5件

不採択となった請願・陳情

鳥獣・海獣被害防止対策の充実を求める

◎請願者 公明党津幡支部津幡東地区員

関沢 隆
紹介議員 道下 政博
(賛成2人・反対15人)

委員会の主な意見

鳥獣・海獣による農作物・漁業被害とあるが、当町において海獣は関わりあいがなく、請願としては妥当ではない。

「米軍新型輸送機オスプレイの配備撤回と低空飛行訓練の中止」を求める

◎請願者 津幡町加賀爪

納口 清隆
紹介議員 塩谷 道子
(賛成3人・反対14人)

委員会の主な意見

政府は明確な日米合意違反の認証はないと結論づけており、現状での配備や訓練に問題はないと考える。

賛成

日米安保条約がある限り、日本はノーと言えないという意見もあるが、日本は主権国家であり、国民に危険を及ぼすオスプレイの配備には反対する。

塩谷 道子議員

中村 一子議員

「消費税増税の実施中止」を求める

◎請願者 消費税廃止石川県各界連絡会

加藤 忠男
紹介議員 塩谷 道子
(賛成3人・反対14人)

賛成

給料も社会保障もよくなるときに、消費税を増税すれば景気は一気に落ち込む。輸出大企業には戻し税の恩恵があるが、中小企業は消費税を価格に転嫁できない場合が多い。

塩谷 道子議員

反対

政府の集中点検会合で確認されたように、増税を見送ると、財政の危機が回避できず社会保障の財源不足にもなるので、増税すべきである。

森山 時夫議員

国の教育予算の拡充を求める

◎陳情者 石川県教職員組合河北支部執行委員長

中木 大進
(賛成2人・反対15人)

委員会の主な意見

30人以下学級は、生徒の個別指導、きめ細かい対応、不登校、欠席率の低下、いじめの減少などに効果があると述べているが、必ずしもそうとは言えない。また、多数の中で切磋琢磨され、頼もしく育つという意見もある。

ズバリ 町政を問う

8人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答方式で行われます。

- 1 八十嶋孝司 議員……………12
・山間地河川の安全対策を県に要望せよ
・学校現場に教員防災士を育成せよ ほか1問
- 2 荒井 克 議員……………13
・防災行政無線は今回の豪雨で機能を果たしたか
・全国市町村交流レガッタに向けての整備は
- 3 黒田 英世 議員……………14
・森林公園の活性化と有効利用を
・県水受水槽の耐震性は ほか1問
- 4 中村 一子 議員……………15
・中山間地域の洪水対策を
・少人数学級化へのビジョンは ほか3問
- 5 塩谷 道子 議員……………16
・雇用促進住宅廃止の閣議決定を撤回するよう国に要請せよ
・定住促進案に子育て政策を取り入れよ ほか1問
- 6 道下 政博 議員……………17
・イングリッシュシャワールームの設置を
・骨髄移植提供者（ドナー）を支援する助成制度の創設を ほか4問
- 7 洲崎 正昭 議員……………18
・地籍調査事業費を増額し進捗率を高めよ
・新駅設置とJR津幡駅東側に改札口の設置を ほか1問
- 8 西村 稔 議員……………19
・職員歴10年目となる職員の定例会を設けよ

議会を傍聴しましょう

◎次の町政一般質問は12月会議に行われます。

議会の会議録は町議会ホームページで見ることができます。

お問い合わせは、議会事務局 (Tel.288-6410)

追跡 あの質問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

総合体育館の外壁落下対策を
平成23年12月議会 酒井義光議員

正面入り口の頭上10mぐらいの外壁が幅約3m、少し離れたところも幅約1.5mが落下している。放置されたままとっているが、いつ落下したのか。
頭上でもあり危険なので、早急に補修するべきであるが、今後の対策を問う。

答 弁

より一層の安全確保に努める

外壁の落下は平成20年7月の夜間におき、発生後すぐに調査し、危険な部分を取り除いた。雨漏り修繕の際、再度、落下の可能性のある部分を取り除き、23年11月にも5か所を取り除いた。
25年度に耐震工事と改修工事をあわせて対策を行う計画となっている。

その後

外壁落下対策、耐震化完了

平成24年3月に玄関ひさしの修繕を実施し、落下防止対策を講じた。
耐震工事は、当初25年度に予定していたが、利用者の安全を確保するため、24年度に前倒しして実施し、25年3月に完了している。



▲改修された町総合体育館



▲無料化に向けて

義務教育修了まで子ども医療費を無料にせよ
平成23年6月議会 黒田英世議員

平成23年4月から通院治療費の助成対象が小学校2年生まで拡大されたが、全国的に見ても、県内全体を見ても先進的とは言えない。
かほく市を含む近隣5市町では1,000円の自己負担も廃止している。
当町でも早急に義務教育修了までの医療費無料化を実施せよ。

答 弁

助成対象の拡大を目標としている

医療費の自己負担分を全額税金で助成するのは、町民間の公平性を損なうと考える。
通院にかかる医療費の助成対象は、中学校修了までを目標としている。

その後

中学校修了まで助成対象に

通院医療費の助成対象は、平成25年度に中学校修了までとした。自己負担廃止については、町独自で行うことは考えていない。



八十嶋孝司 議員

安全対策を 県に要望せよ

県は10月から 改修を行う予定

河川管理

八十嶋議員

今回、大雨により甚大な被害が出ている。山間地の河川の一部で、長年堆積した土砂の除去が行われていない。また雑草が生え、川幅も狭くなっているため、豪雨時には氾濫する危険性がある。堆積土砂や雑草の状態を調査し、県に安全対策を要望せよ。

矢田町長

中山間地の河川を中心とした現況調査を早急に行い、危険箇所の把握を行い、堆積土砂の撤去など、適切な河川管理を最優先に取り組んでいきたい。県管理の河川については、10月から県の事業として防災を目的とした河川改修を行うと聞いている。



堆積した土砂

教員防災士

学校現場で育成せよ

関係機関と協議する

八十嶋議員

教員が防災士資格を取得することで、学校現場での防災教育を一層高めることができる。さらに、避難場所となる学校施設を熟知しており、児童生徒の安全の確保、地域の自主防災組織との連携が

図れる。また、女性教員が資格を取得することで、細かい防災への参画も期待できる。町として、教員防災士を育成する考えはあるか。

早川教育長

学校現場では、危機管理マニュアルも幅広く見直し、研修や訓練も実施している。また、県の防災アドバイザーの指導のもと、各学校でも避難訓練を行っている。町の防災士資格者は、一般町民59人、町職員7人であり、今後とも防災士資格者を育成していく。教育委員会としても関係機関と協議し、現場の整備を進めていく。教員の防災士については、県全体で取り組むべきと考えている。



期待される防災士

その他の質問

Q 再生エネルギーの推進を問う。

A 石川高専と小水力発電の導入に向けて共同研究をしている。

いっばん質問

ズバリ 町政を問う



荒井 克 議員

防災無線

今回の豪雨で 機能を果たしたか 速やかに警報を出した

荒井議員

8月の豪雨では、大雨洪水警報が発令され、各地で被害が多発した。町では、4月1日からデジタル防災行政無線が運用された。災害を最小限に防ぐことがこのシステムの役割であるが、どのような機能を果たしたのか。また、各地域の被害状況と町の対応を問う。

長総務部長

地震や気象警報が出された時点で、速やかに防災行政無線で一斉放送している。8月豪雨の被害状況は、自主避難9世帯14人、町道被害11路線23か所、河川被害5河川13か所、林道被害8路線36か所、農地の冠水被害約3ヘクタールである。8月23日は9時30分に土のうを配置し、13時に防災対策緊急会議を開き、順次対策を行った。



漕艇場

全国大会に向けての 整備は

計画・準備を進めている

荒井議員

全国市町村交流レガッタは、ボート競技を通して各地の交流やまちづくりを進めることを目的としており、2年後に当町で開催される。

来年度8月のつばたレガッタまでにスタートゲートや距離表示などを整備し、全国大会に備えるべきである。さらに、管理棟の整備を県に強く要望せよ。

矢田町長

県津幡漕艇競技場は、県内唯一のC級公認コースとして、過去3回全国大会を開催している。全国市町村交流レガッタ開催に向け、平成25年度は、阿賀大会(新潟県)に視察団として職員を派遣する。26年度に実行委員会を発足させ、計画・準備に万全を期す。B級公認コース認定に向けた整備や管理棟の改修を県に要望した。



全国大会の開催に向けて



黒田英世 議員

森林公園

活性化と有効利用を

県に整備拡充を 要望する

黒田議員

県森林公園は全国有数の規模を誇る。公園内の既存施設の拡充を図るとともにオートキャンプ場などニーズに合った施設を新設し、交流人口の増加につなげるべきと考える。

森林公園活性化に向けた町の熱意と思いを県に對し要望せよ。

矢田町長



▲有効利用を

ミーシャの森プロジェクトを初めとして、「飛べ！まこも 目指せ日本一 in 津幡」など、森林公園の活性化への取り組みが功を奏し、来園者は増加傾向にある。今後も県や関係機関と連携し、誰もが参加できる楽しいイベントなどの開催を計画していきたい。オートキャンプ場などの整備については、既存施設の整備拡充とあわせて県に要望していく。

地震対策

県水受水槽の耐震性は

診断により問題はない

黒田議員

東日本大震災では、巨大地震を想定していなかった受水槽で多くの被害が発生した。町には庄地区と太田地区の2か所に県水の受水槽があるが、万が一の場合、人的、物的被害は避けられない。安全面から、これら受水槽の耐震性が万全かを問う。



▲安心・安全な水を確保

八田上下水道課長

庄受水槽は国が作成した水道施設の簡易診断では、高、中、低の3段階評価で中程度の耐震性である。太田受水槽についても国の耐震化基準では高いとの評価を得ている。診断結果から数年を経ているので、今後はさらに詳細な耐震診断を行い、必要な対策を講じるべきと考えている。

その他の質問

Q 「はだしのゲン」に対する教育委員会の見解は。
A 閲覧の制限はない。

早川教育長

児童生徒や保護者にアンケートを実施した結果、約80%以上が「学校が楽しい」「授業はよく分かる」と答えている。人数が増えたことによる戸惑いやストレス、窮屈感も時としてある中、子どもたちはそれを取りこなし、乗り越えて成長していると考える。

学級定数

少人数学級化への ビジョンは

優先課題を考えて 取り組んでいく

中村議員

当町では、小学4年生までと中学1年生は35人以下学級である。しかし、5、6年生は40人以下学級であるため、5年生になるとクラスの人数が激増する学校がある。内灘町やかほく市では

独自に少人数学級に取り組んでいる。教育委員会は保護者の思いをどのように把握しているか。当町でも教員を増やし、少人数学級を実現せよ。

その他の質問

Q あがた公園の防災備蓄倉庫は、洪水を考慮しているか。
A 公園内の東側への変更を検討中である。
Q 町道庄能瀬線の総事業費等の訂正を。
A 総事業費は、12億4000万円。実施計画書に誤りがあった。周辺の交通対策を万全にせよ。
Q ミニポートピア津幡警察署や関係機関と連携し、取り組んでいく。

いっば

ん質問

ズバリ 町政を問う



中村一子 議員

洪水

中山間地域の対策を

減災に向け対策をとりたい

中村議員

8月23日、菩提寺観測所では降り始めからの総雨量が241ミリに達した。能瀬川上流域は、水田冠水、床下浸水など多くの被害を受けた。今回の水害は、短時間の豪雨により、用水の処理能力を超えたことが要因と思われる。対策をどのように考えているか。また、メール配信サービスの利用者を増やすよう取り組む。

矢田町長

農業用排水や集落内排水などの各水路は、通常それぞれの機能ごとに排水量の検討をしているが、今回のような集中豪雨は想定していない。能瀬川上流域の河川の堆積土砂の除去や水路の改修などを進めたい。メール配信サービスは、現在2566件の登録がある。今後も広報の強化に努める。



▲豪雨により氾濫



▲未来を担う子どもたち



塩谷道子 議員

雇用促進住宅

国に廃止撤回を
要請せよ

要請は考えていない

塩谷議員

現在、町にある雇用促進住宅に27世帯の住民が暮らしているが、平成33年度までに廃止となる。これにより不安な思いをしている入居者に対し、町長は聞き取りするなど、対応をすべきと考える。さらに、廃止の閣議決定を撤回するよう国に要請せよ。

矢田町長

雇用促進住宅の廃止は国の決定であり、現入居者に対しても国が不安を解消すべく最大限努めるべきと考える。したがって、町からの撤回要請は考えていない。

しかし、現入居者の方が町営住宅への入居を希望し、入居条件を満たす場合は支援を惜しまない。



▲有効利用できないかな

定住促進

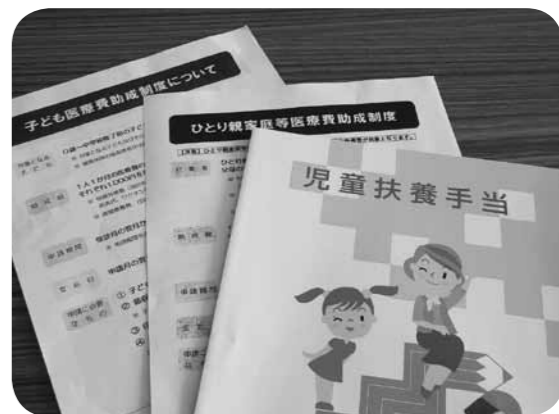
塩谷議員

子育て政策を
取り入れよ
子ども子育て支援策
として推進

町の定住促進案には新築家庭や住宅に対する助成が盛り込まれていない。子育て世代にとって他の市町が取り組む福祉制度の充実が魅力となっている。

町として定住促進案に子どもの医療費無料化を組み入れた人口増加策を図れ。

▲さまざまな支援策



矢田町長

定住促進対策は、定住地を決める上で重要な要件である住宅取得等に係る経済的支援や働く場の創出に重点をおいて設けるものである。

子育て支援サービスなど福祉制度の充実も定住地を決める大きな魅力であることは認識しているが、子ども医療費の無料化は考えていない。子育て政策は子ども子育て支援策として推進を図る。

その他の質問

Q 小・中学校の教室にエアコンの設置を。

A 夏の暑さ対策に取り組みしており、その考えはない。

いっばん質問



道下政博 議員

ズバリ 町政を問う

英語力

道下議員

イングリッシュ
シャワールームの設置を
検討したい

検討したい

イングリッシュシャワールームは、鳥取県で試みられ、空き教室を利用してALTが常駐し、生徒が自主的に英語に触れる環境をつくっている。おしゃべりタイム、英語劇の練習、英検の面接や英語弁論大会の指導等の利用を考えている。

小・中学生の英語力向上のため、当町での導入を検討せよ。

早川教育長

英語力向上のため、ALT、CIRを配置し、小・中学校での英語活動、国際交流活動に取り組んでいる。中学生の海外派遣事業、英語スピーチコンテスト、夏休み中のイングリッシュクラスの実施なども行っている。

イングリッシュシャワールームについては、名称はともかく、ぜひ検討したい。

道下議員

骨髄移植

ドナーを支援する

助成制度の創設を

先進自治体を調査・研究したい

骨髄移植に必要な提供者(ドナー)を増やそうと静岡県清水町では、骨髄バンクに登録し、提供したドナーと、ドナーの勤務先に、それぞれ助成金を交付する制度をスタートさせた。

矢田町長

骨髄を提供する場合、入通院が必要となるため、働いている人や企業に経済的、時間的な負担がかかる。

当町でも助成制度を設けよ。

骨髄移植は、ドナーの正常な骨髄細胞を点滴で静脈内に注入して移植する治療で、10日間ほどの入通院が必要である。

入通院費用の負担はないが、その間の休業補償はない。また、ドナーの勤務先への影響も懸念される。

先進自治体の事例を調査・研究して、骨髄移植助成制度の創設に向け、検討したい。

その他の質問

Q 津幡中央公園に温プールを。

A いくつかの候補地を比較検討していく。

Q 降雨災害対策を万全に。

A 必要な対策を講じる。メール配信サービスの項目を増やし、選択制に。

A 防災情報など安全・安心に特化した形で運用していく。

Q 観光対策委員会の設置を再度提案する。

A 既存の組織と連携し、観光施策に取り組み。



洲崎正昭 議員

いっばん質問

いっばん質問

ズバリ 町政を問う



西村 稔 議員

事業費を増額し 進捗率を高めよ

効率化を図り
推進していく



▲調査促進を

地籍調査

洲崎議員

現在実施している地籍調査の進捗率が非常に低い状況である。平成24年度までの進捗率は7・5%にとどまり、事業費も年々減少傾向にある。25年度の実質事業費は500万円しかない。町としてこの状況をどのように考え、取り組むのか。

矢田町長

平成17年度から調査に着手し、21年度までは主に農地を、22年度以降は住宅地を調査している。災害が発生した際の円滑な復旧、公共事業の着手、土地の権利の明確化などを考えると進捗率を上げることは重要である。事業費確保を国に強く要望するとともに、調査の効率化を図り、地籍調査事業を推進していく。

駅

新駅建設と津幡駅東側に 改札口の設置を

時間がかかるが
真剣に取り組んでいきたい

洲崎議員

俱利伽羅地区の新駅について、7月に新聞報道されていたが、進展はあったのか。JR津幡駅東側改札口の設置についても要望が多いが、町はどのように考えているのか。

矢田町長

新駅建設の要望が出された後は、事業費などを含めたさまざまな調査研究を行っている状況で、具体的には何も決まっていない。津幡駅東側改札口の設置については、関係機関

で構成される協議会等の組織づくりから始める必要がある。ともに町の活性化に寄与できるものであり、時間を要するが真剣に取り組んでいきたい。



▲実現するといいいね

その他の質問

Q 成人式の開催時期の検討をせよ。
A 意向調査を実施する。

定例会

若い職員の意見を町政に

意見を聞く機会が多くあり、
必要はない

西村議員

職員歴が10年目となる役場職員の定例会を設け、若い職員の意見を町政に取り入れよ。

矢田町長

職員には世代を問わず、さまざまな機会を通して意見を聞いていることから、新たに定例会を持つ必要はない。

また、職員からは町民サービス向上や事務の効率化に向けた提案もあり、成果が上がっている。今後も新しい発想や改善策など取り入れながら、町民が住んでよかったと実感できる安心・安全なまちづくりに取り組んでいく。



▲仕事に励む職員

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします



津幡町HP携帯版

みんなで楽しくやってみます!!

サークル紹介第16回

刈安歌謡教室

歌で心も体も健康に

講師 谷明子 (たにあきこ)



刈安歌謡教室は「人の出逢い、楽しく、感謝」をモットーとしてスタートし、はや16年がたちました。現在は16名の生徒さんが在籍し、毎月の課題曲にチャレンジされ、元氣いっぱい声が部屋に響きわたっています。刈安教室の年間行事として、サマードリームコ

ンサート、発表会、忘新年会、慰問、寺尾祭り、ござっさい祭り、芸術祭などいろいろあり、それに向けてますますいきいきとして頑張っています。なお、教室は毎月第1、3木曜日、夜7時30分から9時15分まで、刈安公民館にて行っています。

歌は心も体も健康にしてくれます。歌を存分に歌ってみたい方は、いつでも教室に足を運んでください。お待ちしております。

◆問合先 288-0143 (宮坂)

ディスカバー つばた⑤

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～住吉神社とかぶら祭(川尻)～



川尻区にある住吉神社には、庄区にある住吉神社の神様にまつわる伝説が残っています。

庄の住吉神社の神様が、あるとき、石になって津幡川をかぶらの葉に乗り、「くろべいぶち」の辺りに流れ着きました。すぐに庄へお返ししたのに、また川尻に流れ着いたので、ここにお堂を建てて祀ったということです。

表紙の題字は

萩野台小学校5年

福居 怜菜さんの作品です。

山の小さな動物を見かけたり、木の実を食べたりと豊かな自然に囲まれた、津幡町が私は大好きです。



あとがき

再度広報委員になり、表紙写真の撮影を担当することになりました。議会だよりの表紙写真は、躍動感のある子ども表情をテーマとしており、保育園や小学校に出向き撮影しています。子どもたちの生き生きとした表情を撮るにはシャッターチャンスが重要であり、イメージしている写真がなかなか撮れません。しかし、表紙に載った写真を見て自分なりに満足しています。次はどこに行くか分かりませんが、よろしくお願いたします。(酒井)

編集委員長 黒田 英世
副委員長 酒井 義光
委員 八十嶋 孝司
森井 荒井 道夫
塩谷 時夫